

岡田宮

宝永4年(1707) 貝原益軒書

第71号

令和3年7月吉日
発行 岡田宮社務所

郵便番号 806-0063
北九州市八幡西区岡田町1番1号
電話 (093) 621-1898
FAX (093) 621-5330
ホームページ <http://www.okadaga.jp/>
Eメール okada_guu@yahoo.co.jp



夏越祭

悪病退散
無病息災

令和三年七月二十九日(木)

午前九時〜午後九時(雨天決行)

岡田宮夏越祭・ウイルス退散祈願のこあんない
社頭に設けた茅の輪をくぐれば、悪疫を免れ幸福と繁栄を招来するという古式に則った夏越祭を厳修いたします。今年、新型コロナウイルス退散祈願も併せて行います。

大祓神事 午後六時より

(今年、神職と神社総代のみで行います)
当日ご参拝の方に悪病退散・無病息災の「お札」を授与いたします。魔除けとして玄関に奉納してください。初穂料は大祓袋に住所氏名を書かれてお納めください。郵送対応も行っていきます。
※今年、神事のみ行います。ちびっこ緑日やステージイベントは全て自粛します。

大祓袋

お札

目次

夏越祭ごあんない	1	神社なぜなぜ問答71	3
岡界紀行11	2	七五三	4
岡田宮のアマビエ	3	巫女奉仕者募集	4

七五三

七五三祭は、子供の成長にともない節目々々に神社にお参りして、いつそこの息災成長を祈る行事です。
三歳の男子女子の祝いを髪置、五歳の男子の祝いを袴着、七歳の女子の祝いを帯解きなどと呼ばれますが、これらの名称や、その年齢は地方により、時代によつて必ずしも一定しません。ともあれ、七五三は江戸時代から、広く行われた行事で岡田宮では、十一月十五日を当日とし、その前後を通じてにぎやかなお参りが行われます。
なお、令和三年の七五三の年齢は、左記のとおりですので、ご家族おそろいでお参り下さい。

記

三歳 令和元年生(かぞえ齢)
平成三十一年生(かぞえ齢)
平成三十年生(満年齢)
五歳 平成二十九年生(かぞえ齢)
平成二十八年生(満年齢)
七歳 平成二十七年生(かぞえ齢)
平成二十六年生(満年齢)

※年齢はかぞえ年でも、満年齢でもかまいません。
※毎日午前九時より午後四時まで受付をしています。



正月巫女奉仕者募集

大神様のお側近くで巫女として仕え、お神札やお守りをお授けする女性奉仕者を募集しています。神様に仕える重要なお務めです。

奉仕資格

- ホジティブな人
 - 黒髪
 - 返事が02秒でできる人
 - 報告・連絡・相談ができる人
- ※書類審査・面接が有ります。



ご希望の方は神社社務所
電話 (093) 621-1898
10月15日までにお問い合わせください。



有川写真館

岡田神社STUDIO

北九州市八幡西区岡田町1-46
TEL 093-621-2080

■営業時間 10:00〜17:00
■定休日 水曜日

撮影衣装・着付・ヘアメイク無料

¥27,500~

(四切1枚・台紙付)

七五三お出かけレンタル衣装

¥0~

(お一人様)

新作ブランド衣装など多数取り揃えております

黒崎宿熊手の綿屋松井家

岡田宮随神門を入ってすぐのところ
ろに一對の石造狛犬が置かれてい
る。文政十年(一八二七)丁亥二
月、松井太郎吉通が奉納したもの
である。



松井氏の屋号は綿屋で、黒崎宿熊
手に居住していた。楳嶺を作ってい
たことは確認できるが、家業の具体
の内容は不明である。ただ、天保七
年(一八三六)段階で田島六町七反

を有する富裕な家であった。同家
が身代を維持できたのは、太八郎
吉通の祖母まんの手腕によるとこ
ろが大きかったようである。

まは、鞍手郡頼野村(現直方
市)の医師数住秀菴の娘で、天明
元年(一七八一)に生まれた。十六
歳で綿屋(松井)茂右衛門に嫁
ぎ、政右衛門を産んだ。茂右衛門
は、岡田宮宮司の兼務社である湊
天満宮の拝殿再興のため、銭を寄
進している。

文化十二年(一八一五)、まんの
夫茂右衛門が亡くなった。跡継ぎ
の政右衛門は若年であり、家計は
苦しかったようである。まは政
右衛門を助けて家政を切り盛りし
た。やがて政右衛門は成長して妻
を迎え、太八郎(吉通)が誕生し
たが、今度は政右衛門が亡くなっ
た。幼少の孫太八郎に代わってま
んが農業や下人の指揮を行った。
天保七年十月、福岡藩庁はまん

に綿木綿一反を与え、夫や息子に
先立たれながらもその勤勉さで家
格を維持するなどしたまんの志・
善行を称賛した。このことは、中
間村惣社宮の神主伊藤道保が編
纂し、慶応四年(一八六八)に刊
行された「筑紫遺愛集」巻十二に
掲載された。

ところで、岡山紀行9で紹介し
た、嘉永三年(一八五〇)の疫病
退散祈禱で岡田宮に出動した熊
手村組頭の太八郎は、まんの孫と
考えられる。庄屋を補佐する村役
人にまでなったのである。文久二
年(一八六二)の岡田宮拝殿・中
殿新築の際、太八郎は金三両・松
一本を寄進している。

岡田宮への狛犬奉納は、当主で
ある太八郎吉通の名で行われてい
るが、その陰には祖母まんの働き
があったことは想像に難くない。
(北九州市立自然史・歴史博物館
学芸員 守友隆)

岡田宮のアマビエ御朱印



写真は神職の手彫りアマビエ御朱印です。
本来、御朱印は御朱印帳に納めるもの
です。しかし、アマビエの予言に「悪疫退散」「無病息災」を願う手帳に入れ
て持ち歩く人が増加しています。

◆岡田宮のアマビエは、
毎日9時から16時の間に受付です。

※AMABI

江戸時代中期に製作されたもの(五枚)に、絵と文字が
記されている。甲斐田・岡田・熊本・徳島・香取・佐賀・宮崎
の各藩に送られた。土佐藩の藩人がおおいだつたため、アマビエ
と家業のためが、個人に対して「五年(一八六〇)の歳
は、疫病で作物が枯れ、しかし疫病が流行した。私の安
を願った人々に「おまへ」として書いたこと
を、海の中へ流して行ったことよ。

神社なせ問答 (その71)

「厄病神」とはどのような 神様なのでしょうか。

厄病神(やくびょうがみ)とは病氣な
どさまざまな災厄をもたらす悪神であ
り、疫神(えきじん)、厄神(やくしん)
とも考えられています。

疫神に対する信仰は古くからあり、
「神祇令(じんぎりょう)」には年中祭祀
として鎮花祭(ちんかさい)が規定され
ています。これは春花が飛散する旧暦
三月に、花と共に疫神が飛散するのを
防ぐため、大和の大神(おおみわ)神社
と摂社・狹井(さい)神社でおこなわれ
た祭りであり、現在では毎年四月十八
日に執行されています。

また毎年六・十二月の二度、都へ疫神
が入らぬように都の四隅でおこなわれ
た道饗祭(みちあえのみまつり)も、こう
した信仰によるお祭りです。具体的に
は道祖神と称されている八衢比古(やち
またひこ)・八衢比売(やちまたひめ)・

久那斗(くなど)の三神に対する祭り
ですが「延喜式」巻八「祝詞」、供物に
獸皮が用いられることなどから、疫神
(疫鬼)が都の中に入らぬよう路上に迎
えて饗応し、退散させる意味がある
ともわれています(「令義解」へりようの
ぎげ)。

このように災厄をもたらす疫神を祀
るということは、我が国独自の考え方に
基づくものです。例えば宮中でおこなわ
れていた追儺(ついな・節分行事)の祭
りには、大陸から伝わった当初に無かつ
た疫鬼への饗応が見られます(「延喜式」
巻十六「陰陽寮」。また崇りをもたら
す靈魂(人霊)を神霊として鎮めると
いうことは御霊(ごりょう)信仰にも見
られ、丁寧に祀りすることにより災
厄を防ぐ靈威ある神へと変わるのです。
一年の災厄を祓うため、正月に厄神詣と
して厄神を参詣する風習があったのは、
まさにこうした信仰によることです。

現在でも、疫神送りと呼ばれる行事
が地域によっておこなわれるなど、日常
生活の平穏を祈る人々の気持ちは今も
昔も変わりがありません。